

・甲子 B 仮設住宅夏祭り活動報告書

2015年8月3日に甲子B仮設住宅にて夏祭りイベントを行いました。企画の段階から参加をさせてもらい貴重な経験になりました。学生同士で企画を話し合い、それを仮設住宅の方に伝え出来るかどうかの判断をしていただくのは顔を合わせ会議をしているのとは違い、無理なことを言っていないかと不安にもなりました。事前に打ち合わせに伺ったときに「意見は何でも言ってほしい。大学生の意見は貴重だ。」とっていただけたのは本当に嬉しかったです。

当日は電車で釜石まで向かっていたのですが途中の遠野駅で電車が止まってしまい、遠野駅で降りて車で迎えに来てもらいました。その際に遠野の名産品が売っているお店を見れたのは良かったです。仮設住宅に着いたら全員で準備に取り掛かりました。夏祭りでは、流しそうめん、たこ焼き、かき氷、チョコレートフォンデュ、射的をする予定なので器具を出したり食材の準備をしたり、会場全体の飾りつけを行いました。そうめんを茹でるための鍋やコンロ、流しそうめんをするための竹などは仮設住宅の方や社協の方々が用意してくださいました。私たちは飾りを折り紙で作りました。分担し準備を進めていましたが、初めての場所で勝手がわからないことも多く少し準備に手間取ってしまいました。もう少し役割をきちんと分け効率的に動けたと思うので、今回の反省点として次につなげていきたいと思いました。少し慌ただしく準備しつつ14時から夏祭りをスタートさせました。最初は流しそうめんを開始し、住民の方や学生のそうめんを楽しそうにすくう声が多く聞こえてきて嬉しかったです。私は社協の方と一緒に茹で上がったそうめんを流しやすい量に分けていました。あんなに大量のそうめんを見る機会もそれを分けていく作業をする機会もなかったので貴重な良い経験になりました。そうめんを茹でている鍋の近くでの作業だったのでガスコンロの火が熱かったです。私自身流しそうめんが初めてだったので流れてくるそうめんをすくうのに苦労しました。コツを教えてもらってからは沢山すくうことができ楽しかったです。ミニトマトやブルーベリーなども流し盛り上がりました。たこ焼きは、たこ焼き器を持って行ったのですが屋外だったからか、電力が弱かったのか焼けるまでに時間がかかってしまいました。油がはねて熱かったのですが、味はとても美味しかったです。チョコレートフォンデュは専用の小さめの機械を持っていき行きました。ホテルや食べ放題のお店でしか見たことがなかったので家庭用の小さい機械があることに驚きました。バナナを切ってお皿に盛りつけたり、マシュマロやプリッツなどのお菓子も置いておきました。子供が美味しそうに食べてくれたことが本当に嬉しかったです。夏祭りを開催していた時間が午後ということもあり、暑い中で食べるかき氷は好評でした。家庭用の小さいかき氷機でしたが住民の方も学生も美味しいとって食べていました。いちご、めろん、みぞれなどの定番シロップの他にもカルピスなどがあり全種類食べてみたかったです。射的は割り箸で作ったパチンコを使い行きました。射的というアイデアが出

たときはどうやてやるか悩みましたが子供や住民さんに楽しんでもらえたものができて良かったと思います。

夏祭りは食べ物などの屋台形式のもの他にもパフォーマンスなどのステージの催し物も用意してありました。甲子 B 仮設住宅の住民の方々でやっている歌う会による合唱がありました。私たち学生も明日があるさ、翼をください、若者たちという 3 曲と一緒に歌わせていただきました。歌う会の方々と違い少ししか練習していない私が一緒に歌わせていただくのは抵抗があったのですが、歌い終わった後に沢山の拍手をいただき、歌う会の方々にもありがとうと仰っていただき本当に嬉しかったです。学生が考えたパフォーマンスとして釜石の伝統的な踊り、釜石よいさを披露しようというものがありました。折角夏祭りという舞台でやるので浴衣を着て行うことにしました。私たちが浴衣に着替えているあいだに住民の方が尺八を披露してくださいました。とてもきれいな音色でした。練習をしてきたとはいえまだまだうまく踊れていない私たちが釜石よいさを披露するのは少し怖かったのですが住民の方々が手拍子をしてくださったりと、とても温かく見守っていただけました。住民の方々に笑ってもらえたのが何よりも嬉しかったです。夏祭りが終わると皆で片付けをし、その場所でバーベキューをしました。夏祭りの風景を片付けてしまうのは寂しかったです。何人かの住民さんもバーベキューに参加してくださりより深い交流ができた気がします。

その日に泊まる場所は甲子 B 仮設とは違った仮設住宅だったのでそちらまで車で移動しました。泊まる場所に行く前に星が見れるところに案内してもらいました。きれいな星を皆で眺めるのはなかなか出来ない貴重な経験でした。とても内容の濃い楽しい 1 日になりました。仮設住宅の方々にとっても楽しい思い出になっていただけていたら頑張っただけで企画をした私たちも嬉しいです。

2 日目は「創作農家こすもす」さんにてお手伝いをさせていただきました。こすもすさんはレストラン経営の傍ら、公園、農園などで各種イベントや体験学習などを開催し釜石の活性化につながるような文化発信の地として取り組んでいます。(パンフレットから引用)今回は木材運びと公園の整備をお手伝いさせていただきました。屋外での木材運びは大変でしたが普段触らないものに触れる機会は貴重でした。公園整備では草むしりと木片(チップ)まきの 2 つの班に分かれて作業を行いました。私は木片まきの班でした。木片をまくことにより柔らかい地面になりました。均等に木片をならすのは難しかったです。こすもす公園には沢山の遊具があり、遊ばせていただきました。クライミングウォールに初めて挑戦しました。初心者向けのコースでも登るのに苦労しました。普段運動をしていないのでこれからは少し体を動かそうと思いました。その後こすもすさんで昼食をいただきました。野菜がたくさん使われている健康的で美味しいメニューでした。甲子名産の甲子柿でつくったドレッシングがとても美味しかったです。是非また食べにいきたいと思いました。

新幹線で帰る前に川遊びを体験しました。冷たく綺麗な水での川遊びはとても楽しかつ

たです。川でスイカを冷やし、スイカ割りもしました。川遊びやスイカ割りは小学生ぶりだったので楽しかったです。

最後に社協の方々にお礼を言ってから帰りました。とても濃い 2 日間で素敵な思い出がたくさん出来ました。最初は仮設の方々はどう接していけばいいのかわからず不安でしたがとても気のいい方々ばかりですぐ肩の力が抜けました。この 2 日間仮設の方々にも社協の方々にも素敵な思い出ばかりもらいました。私も少しでも楽しい思い出を作るお手伝いのできていればと思います。楽しんでいただけたことを確認しに、そしてもっと楽しい思い出を作ってもらうためにまた釜石に行きたいと思います。